

発行90年！
『初期小型シート』の収集のポイント

〔児玉 厚一〕…………… 2

カラー連載

わたしの大好きな切手⑩
「ランナーとハマナス(第44回国体)」
湯浅英樹さん(北海道)…………… 1
郵趣風土記～マテリアルでたどる地域郵便史～⑫〔板橋 祐己〕
江戸橋南詰の日本橋郵便局…………… 8
カラーで見る郵趣百科事典⑰〔魚木 五夫〕
クラシックの名品切手⑤「ニューカレドニアの一番切手」「サーペンタイン・ルレット」…………… 10
私達と植物のかかわり～植物切手歳時記～⑥〔石田 徹〕
「花と共に生きる」…………… 12
拝見！ 10枚の愛蔵コレクション⑳〔白石 悟〕
大学の切手…………… 14
押さえておきたい“日本切手の壺”⑳〔山口 充〕
電信切手のマルチプル…………… 16

連載

著名人の手紙 ⑭⑧〔新垣 千尋〕…………… 31
詩人 まど・みちお…………… 31
郵趣家の書斎～さまざまな切手収集の楽しみを訪ねて⑰〔佐伯 幸一〕
吉倉秀樹さん～郵政人として富山の魅力を発信～
切手女子流“切手の楽しみ方”⑱〔ばば ちえ〕…………… 32
STAMP-SHOWフリマ…………… 34
JPS研究会発信！ここに注目！収集のポイント⑩…………… 36
リストを活用した作品作り〔澤口 尚子／昆虫切手研究会〕…………… 36
軍事郵便収集の魅力⑥〔玉木 淳一〕…………… 38
日露戦争〈上〉1904-05…………… 38
切手収集今昔物語～切手とともに歩んだ70年～⑤〔小西 邦彦〕…………… 39
フィラテリック・ビューロー今昔…………… 39
想いを伝える風景印⑥…………… 40
夏のごあいさつ…………… 40

丸ごと！世界新切手ニュース(71カ国890種を掲載)

編集部おススメ！話題の新切手から ⑬⑤…………… 49
ワールドスタンプナウ ⑳⑰〔榎山 哲太郎〕…………… 49
バレンタインのハート形切手25周年…………… 50
『ビジュアル版』(図版ページ)…………… 52
『テキスト版』(解説ページ)…………… 65

情報・コミュニケーション

6月のイベント・スケジュール…………… 18
日本新切手ニュース：「夏のグリーティング」「2024年夏用はがき」ほか 20
郵趣の目・国内情報：「郵趣のための押印サービス」ルールを公式発表ほか… 25
郵趣の目・海外情報：英米で偽造切手が大量に流通／国際切手展 EFIRO 2024 出品一覧ほか…………… 27
切手の博物館ニュース：「再録！切手顔面研究所」展ほか…………… 29
BOOKS：「世界の昆虫切手 vol. 3 & 種別検索リスト」、「ゆうびんの父」… 41
読者のページ おたより喫茶室…………… 42

協会事業のページ

「全国郵趣大会 in 富山」開催案内…………… 75
ゆうびん.de 自由研究・作品コンテスト2024 出品募集…………… 76
STAMP-SHOW2024受賞一覧…………… 77
研究会一覧／研究会・支部定例会…………… 78
開催録／次号予告ほか…………… 79
公益財団法人日本郵趣協会のご案内…………… 80

巻頭言

郵趣の楽しみ

郵趣は幅広く、さまざまな楽しみ方ができる趣味です。私もさまざまな形で楽しんでいます。その中でも、切手や郵便印の研究、収集品で展覧会作品を作ることが特に好きです。

今年はいくつまでに、切手の博物館でのミニベックス用に、作品をふたつ作りました。ひとつは明治時代の日本郵便印の作品です。この分野は長年のわたしの研究対象で、同時に、収集分野でもあります。そのため、良い作品ができるだろうと期待しながら準備をしましたが、出来上がった作品はいまひとつでした。長年かけて集めたのですが、作品にすることを考えたマテリアル選定をしていなかった結果です。ですが、作品の欠点を知ることで、今後の収集の指針が得られました。

ふたつめは、英国ジョージ5世時代の記念切手作品です。ジョージ5世の時代に英国初の記念切手が発行され、今年で100年になることに因んだ作品です。これまで英国の記念切手には力を入れていなかったため、作品作りは切手の入手から始まりました。切手収集は集め始めが楽しいものです。カタログを勉強しながら、ワクワクしながら集めました。これにより、英国記念切手の知識を学ぶことができました。また、作品作りには、昨年の『郵趣』で連載された「リープづくりの凄ワザ！」が大いに役立ちました。

このように、新たな作品を作ることで、収集の指針が得られたり、新たな知識が得られたりします。これこそが、私にとっての郵趣の楽しみであり醍醐味です。

JPS理事長 山田 廉一



表紙の切手より

スウェーデンから春の鳥をモチーフにしたセルフのりの切手帳が発行されました(64・71㌔)。ヨーロッパの文学作品などに登場するヨーロッパコマドリや、特徴的な冠羽を持つタゲリ、日本でも馴染み深いツバメなど10種の鳥たちが描かれています。図案は植物や鳥のデザインを得意とする同国出身のアーティストAnna Handellによるものです。

◆「拝見！10枚の愛蔵コレクション」は次号以降で掲載いたします。